

平成24年度
実施事業

事務事業名	東京登別げんきかい交流事業
-------	---------------

区分	No	名称
章	6	担いあうまちづくり
節	2	交流によるまちづくりの推進
施策	1	国内における交流の場と機会の拡大
小分類	1	国内の様々な地域との交流の推進
主要な施策	3	③札幌圏・首都圏における交流拠点の整備
事務事業番号	001	事業開始年度 平成 元 年度 事業終了年度 平成 一 年度 会計種別 一般会計

部 名	総務部	グループ名	企画調整グループ
-----	-----	-------	----------

事務事業の概要 《Plan・Do》

目 的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	首都圏等在住の登別出身者等で構成される「東京登別げんきかい」と市との相互の情報交換や交流を図るとともに、会の協力による首都圏での情報発信等を通じ、市政の発展に寄与することを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください)
	<p>総会や交流の場において、市の情報を発信し、市政や首都圏でのPRに協力いただくとともに、相互の情報交換や親睦、交流を図る。</p> <p>【平成24年度の東京登別げんきかいの主な活動内容・実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総会・情報交換会・懇親会の開催 <p>平成24年11月10日（土）</p>
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	登別のふるさと会である東京登別げんきかいは、市と首都圏をつなぐパイプ役としてふるさと応援のための活動を活発に行っていることから、その活動を活性化するため、市の情報を発信するなど、交流事業を継続していく。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	(参考) 東京登別げんきかい会則

事業費（財源内訳）の推移 《Plan・Do》

区分		単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	566	556	640	640	640
事業費 合計			566	556	640	640	640

指標の推移 《Check》

区分		単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
成果 指標	① 総会・情報交換会参加者（延べ人数）	人	目標値	160	160	160	160	160
			実績値	127	80			
	②		目標値					
			実績値					

比較		《Check》
平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等	左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 会は登別出身者で東京等首都圏に住所を移して活躍している方々により、登別のふるさと会として結成されており、各種事業は会が主体となり事業計画を立て、活発に展開されている。 ・ 同会は、東京周辺の在住者で構成されているため、登別市の近況について、情報が得にくい状況にある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 首都圏における市のPR活動など、地元登別の発展のため展開する会の各種活動に対する支援を継続するとともに、会との情報交換や交流を引き続き行う。 ・ 情報交換や総会の場における市の情報発信の内容等の充実に努める。 	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可）		《Check》
1. 事務事業の妥当性について		
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	<input type="radio"/> ① 市が主体に行うべき事業である <input checked="" type="radio"/> ② 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である <input type="radio"/> ③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である <input type="radio"/> ④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している	判断理由及びその他所見 本事業は、首都圏在住の登別出身者に対する市の情報発信などを内容とするものであるが、会発足から24年が経過し運営も軌道に乗っていることから、事業主体の見直しを検討する必要がある。
2. 事務事業の必要性について		
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	<input type="radio"/> ① 市民、団体等から具体的な要望がある <input type="radio"/> ② 市民アンケートの結果から必要性が高い <input type="radio"/> ③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い <input type="radio"/> ④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い	判断理由及びその他所見 会は、登別市のふるさと会として、市政への協力や首都圏での市のPRを行うなど、市と首都圏とのパイプ役として地元登別の応援のため活動を行っている。会からは市の情報の提供や交流の場の確保等、市のPR等の各種活動に係る要望もあり事業の必要性は高い。
3. 事務事業の効率性について		
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	<input type="radio"/> ① 低予算、少労力で高い効果をあげている <input type="radio"/> ② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い <input type="radio"/> ③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない <input type="radio"/> ④ 将来的に効率性を向上できる	判断理由及びその他所見 会の活動は会の主体的な計画・立案のもと、ふるさと応援ツアーや企業誘致など登別の発展のため積極的に展開されている。今後も市の情報の提供や会と市との情報交換を適宜行い効率的な事業の展開を図る。
4. 事務事業の成果について		
目的を達成するための成果はあがっていますか？	<input type="radio"/> ① 成果指標の向上が見られる <input type="radio"/> ② 市民、団体等の声から成果を感じられる <input checked="" type="radio"/> ③ 目に見える形で成果があがっている <input type="radio"/> ④ 成果の把握は困難である	判断理由及びその他所見 積極かつ活発に活動が展開されている。市と会または会員相互の情報交換や交流が図られている。また、登別をふるさとに持つ会員構成となっており、ふるさと納税の協力も得られている。

①担当グループによる評価 《Check》

維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠) 会は首都圏での市のPR活動など登別の発展のための活動を行っており、その活動は市にとって大きな財産であるが、団体の自主的運営の促進など、市との関わりを含め会のあり方を検討する必要がある。
-----------	--

②行政評価会議による評価 《Check》

維持	備考
-----------	----

③総合的な評価（当該事務事業の方向性） 《Action》

維持	備考
-----------	----

〔評価区分〕

- ◆ 拡大（事務事業の目的を達成するために事業の規模や経費の大幅な変更が必要な事業）
- ◆ 維持（事業内容の根幹にかかわる部分については変更せず、不断の点検・検証による効率的な経費の活用や軽微な見直しを行い、継続的に実施する事業又は、事業計画等で予め年次的に実施する事業内容等を定めており、実施年度によって経費や実施箇所等に変更が生じる事業）
- ◆ 改善（当該事業の目的を達成するために、現状の手段や経費、事業の方向性等、事業の根幹に関わる部分について見直す事業）
- ◆ 休止（暫定的に休止する事業）
- ◆ 廃止（事業の開始当初から目指していた成果が得られなかったなど、目的が達成された事業）
- ◆ 終了（事業の開始当初から予定していた事業期間が終了した事業）